

NETIS登録番号	技術名称	スチール透水蓋工法			
QS-030044-V	副題	排水性舗装におけるスチール透水蓋を用いた側溝改造工法			
分類1	道路維持修繕工	その他	キーワード: 安全・安心、コスト縮減		
分類2			生産性の向上 側溝改造		
開発目標	安全性の向上、作業環境の向上、その他				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術	<input type="checkbox"/> 準推奨技術	<input type="checkbox"/> 活用促進技術	<input checked="" type="checkbox"/> 設計比較対象技術	<input type="checkbox"/> 少実績優良技術
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (特許番号: 特許第3892436号・特許第3907001号)			<input type="checkbox"/> なし	
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	エムシー産業株式会社		TEL	0954-26-9535
	住所	〒843-0012 佐賀県武雄市橋町大字片白字馬場9922-1		E-MAIL	info@mc-sangyo.com
	担当者	相浦敬次郎			
実績件数 H25.9.27現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等
	134件		149件		9件

技術概要: (300字以内)

近年、環境の改善や安全性に優れている排水性舗装や透水性舗装による維持修繕工事が市街地を中心に盛んに施工されるようになってきました。しかし、一方では「路上工事の縮減」をテーマに大きな社会問題として取り上げられるようになってきました。このような背景から、工期に大きく影響する付帯工事のうち側溝改造工事に着目し、従来の側溝嵩上げ及び現場打ち側溝蓋工事から、市民生活に優しく、そして効果のある技術を、より早く安全に提供する事を目標に本製品及び工法を開発しました。

新規性及び期待される効果

- ①従来工事の1/4程度に工期を短縮できます
- ②早期解放による車や人の交通環境及び沿線の乗り入れ制限等の改善、施工方法の単純化等施工の安全性が大きく向上します
- ③車道及び歩道は全面が舗装で覆われるので車や人及び障害者の車椅子等快適な通行ができます。
- ④舗装体を通る雨水は側溝上まで遮るものが無く、また透水量は、従来より大きな排水断面で十分確保できます。
- ⑤耐久性は大型車輛に対応できる強度で、腐食は溶融亜鉛メッキで防ぐ事ができます。

適用条件

①自然条件:

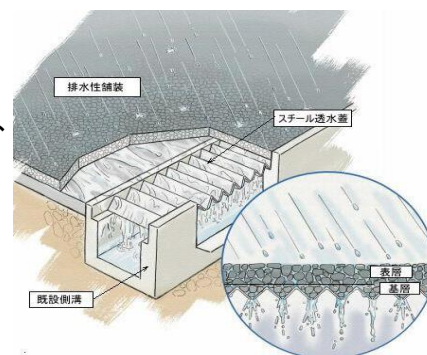
・腐食については溶融亜鉛メッキ(JISH8641 HDZ55)を施していますが、腐食性ガスの噴出する地域や、大量に凍結融解剤を散布する地域には適用は避けて下さい。

②現場条件

舗装修繕時の作業帯で施工します。

③技術提供可能地域:

全国 (スチール透水蓋製造拠点:千葉県・三重県・滋賀県・広島県・福岡県・佐賀県・熊本県)



スチール透水蓋のイメージ



スチール透水蓋



透水試験(側溝内撮影)

施工単価

スチール透水蓋工法の150m当りの費用(H17年度)

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
蓋版撤去	50cm×41cm×12cm	300	枚	184	55,200	
コンクリート取壊し	側壁部	0.71	m3	19,272	13,683	
殻運搬処理	L=10km	8.09	m3	4,734	38,298	
スチール透水蓋	幅38cm×長さ99.4cm	150.9	m	8,800	1,327,920	
同上下布設		150.9	枚	225	33,952	
基層(排水性混合物)	人力、平均厚4.1cm	61.5	m2	1,975	121,462	
表層(排水性混合物)	機械、厚さ5.0cm	75.75	m2	1,601	121,276	
直接工事費					1,711,791	
1m当り単価					11,412	

